

ナイトライフ局について

市長室メディアエンターテインメント局内のナイトライフ局は、市当局、ナイトライフ事業者、住民、従業員、常連客、そしてアーティストとの間の接触の中心として機能し、すべてのニューヨーク住民にとって有益となる安全で活気に満ちたナイトライフの場を推進している。ナイトライフはニューヨーク経済だけでなくそのアイデンティティにも不可欠である。同業界は 30 万人近い雇用を抱え、経済活動は数十億ドルを創出している。さらにニューヨークのナイトライフは、長い間文化運動の重要な育成機関として機能し、創造性、社会一体性、および個人の表現のための場所を提供し続けている。

ビル・デブラシオ市長は 2017 年 9 月に同局設立のための法案に署名し、ラファエル・エスピナル議員は同法案を支持した。ナイトライフ局は、積極的に夜間の生活を管理することにより、活気と安全性のバランスを取るために働きつつ、世界中で 30 以上の主要都市において気運高まる運動の世界的主導者としてのニューヨークの位置づけを強めている。アムステルダム、ロンドン、パリ、ベルリンなどの都市における同様の取り組みは、騒音に対する苦情の削減、およびより健康的かつ生産的な夜間の経済などの社会的利益をもたらしてきた。

ナイトライフ局は、生涯ニューヨーク住民でありナイトライフのプロであるアリエル・パリッツ上級局長により率いられる。パリッツ氏は、ナイトライフおよびコミュニティの構築の両方に深い経験を持ってその役割を担う。彼女は 10 年間南東側にあるナイトクラブ「Sutra」を所有および運営し、6 年以上にわたり第 3 コミュニティ委員会で働き、現任前の 3 年間は自身のコンサルティング会社である「Venue Advisors」を通してニューヨーク市で起業家らがナイトライフ施設を設立することを支援してきた。